



オオルリシジミ 生息地

公益財団法人日本自然保護協会

日本自然保護協会は

科学的な調査と研究を基に

●日本全国のたくさんの場所の自然保護問題の解決

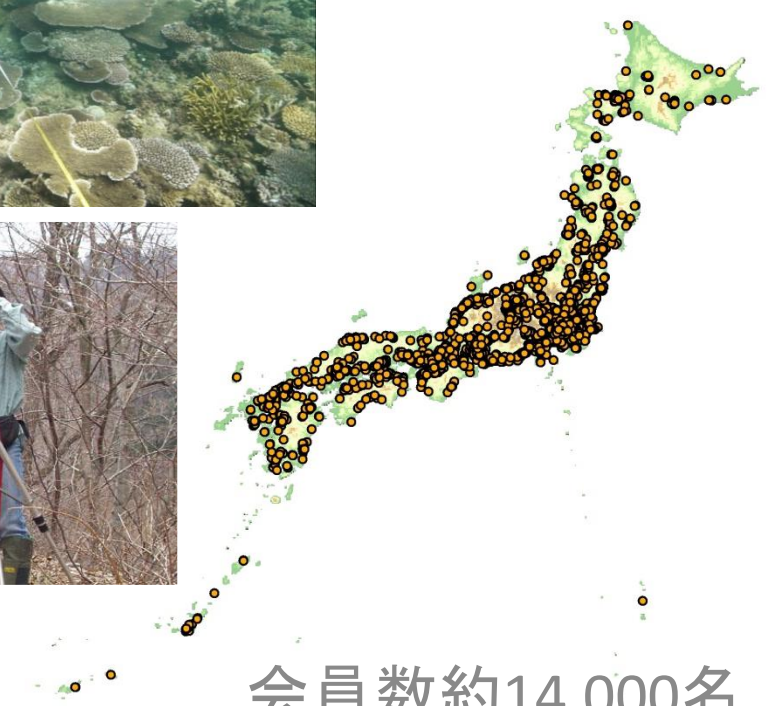
(政策提言・調査など) ←地域の皆さま・研究者と連携

●自然を大切にする社会づくり

(自然の情報提供・価値を伝える活動)

↑自然を大切に思う方、組織、協力者を増やし一緒に活動

全国で活動中



会員数約14,000名

なぜ蝶を保全するの？

オオルシジミをはじめとした「里やまや草原のチョウ」が絶滅に最も近い生きものだから。

里やまや草原のチョウが減少した主な理由

× 手つかずの自然が減ってきたから？

○ 縄文時代から数千年、生活のために「人の手」によって維持されてきた生息地（里山や草原）がなくなってきたから。

→ (例) 明治時代、国土の10～30%程度が草原 → 現在 1% にまで減少



どうやって蝶を絶滅から守るの？

- ・ 草原を国土の1%→20%に増やす。
 - ・ 里やまの環境を新しく作る
- ✖ 現実的ではない。

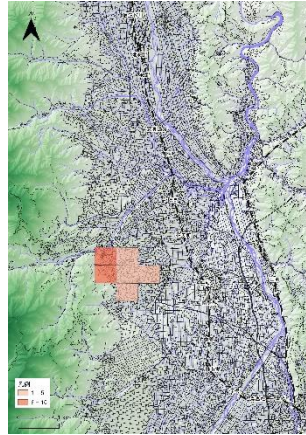
- **みんなで** 科学的な調査と研究を行い
(人の近くで暮らしていた蝶を) **「人の暮らしの中で」**
効果的に生息数を増やしていく



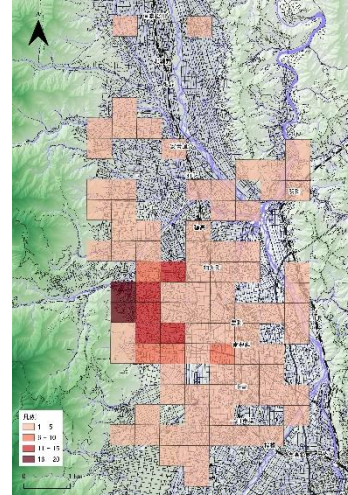
どうやって オオルシジミを守るの？



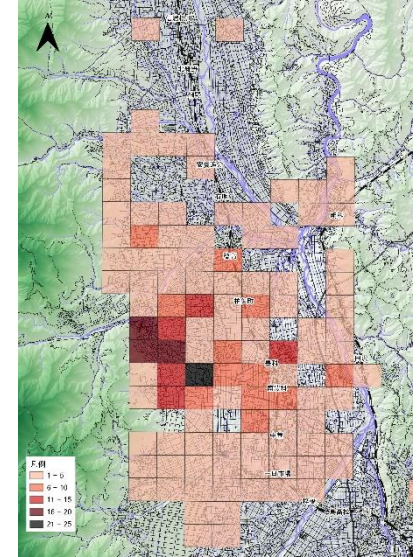
2019年以前



2020年



2021年



岩原自然と文化を守り育てる会の皆様が配布して下さったクララを、市民の皆さまが植えて下さった場所。安曇野では、市民の皆さんが絶滅危惧種の保護活動の主役に！



安曇野のオオルリシジミを 守るための活動に 参加してみませんか

- 1、食草クララの植栽(ご自宅のお庭など)
- 2、植えたクララを調べる(調査)



1、食草クララの植栽



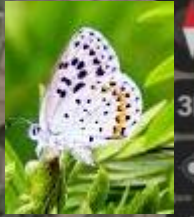
写真左：岩原区の畑脇のクララ、



1回目の配布会で得たクララに翌年
やって来たオオルリシジミ

写真右：柏矢町で撮影

国営アルプスあづみの公園



Google

2、植えたクララを調べる

5月～7月、ご自宅の庭や畑での情報が貴重な資料に

**あなたが植えたクララにオオルリシジミが
来ているか調べます！**

**2023年オオルリシジミ調査への
参加のお願い**

来年度の春、あなたのクララに、オオルリシジミが
来ているか、知りたくありませんか？
日本自然保護協会では、研究者や自然観察指導員
の協力を得て、2023年の春、あなたが植えたクラ
ラに、オオルリシジミが来ているか調べます。調
べたデータは、安曇野のオオルリシジミの分布に
大の貴重な情報になります。
調査に協力して下さる方は、下記にご記入くだ
さい。

調査時期：2023年6月中旬
調査方法：クララにオオルリシジミが卵を産んでいるか幼虫がいるか専門家による調査。

協力して下さる方で
ご希望の方には2023年
に「クララの苗を1本」
追加で差し上げます。
来年の調査の際にご希望
をお伺いいたします。



公益財団法人日本自然保護協会 生物多様性部
〒104-0033 東京都中央区新川1-16-10 ミトビル2階
TEL. 03-3553-4101 / FAX. 03-3553-0139 mail. ba@nacsj.or.jp
担当の業務用携帯: 070-3243-3384 (携帯)



調査申し込み
QRコード

主催：公益財団法人日本自然保護協会 安曇野オオルリシジミ調査対策会議
裾野自然と文化を守り育てる会 豊州生物多様性ネットワーク

2023年オオルリシジミ調査に参加します。

お名前 _____
ご住所 安曇野市 _____
電話番号 _____ Mail _____



研究者・自然観察指導員
の協力を得て、
卵と幼虫の調査します。

卵を確認する調査



調査は5~7月が時期

4齢幼虫が蛹になる直前に紫色に変色した老齢幼虫。老齢幼虫はクララから地面に降りて土の中で蛹になる。



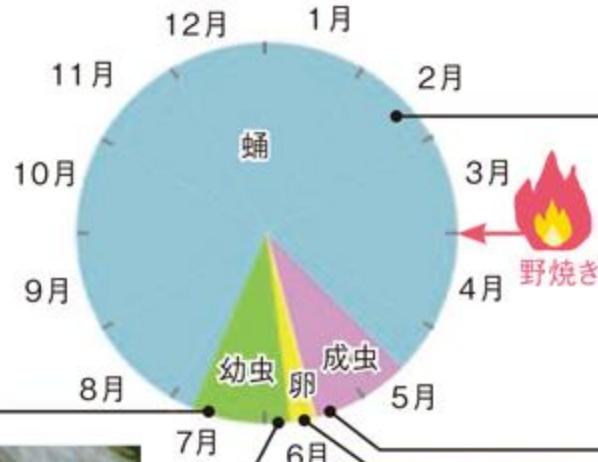
3回脱皮した幼虫
(4齢幼虫)

▶ 図1 オオルリジミの生活史。幼虫期がクララの開花時期(6~7月)と重なっている。

孵化したての幼虫
(1齢幼虫)



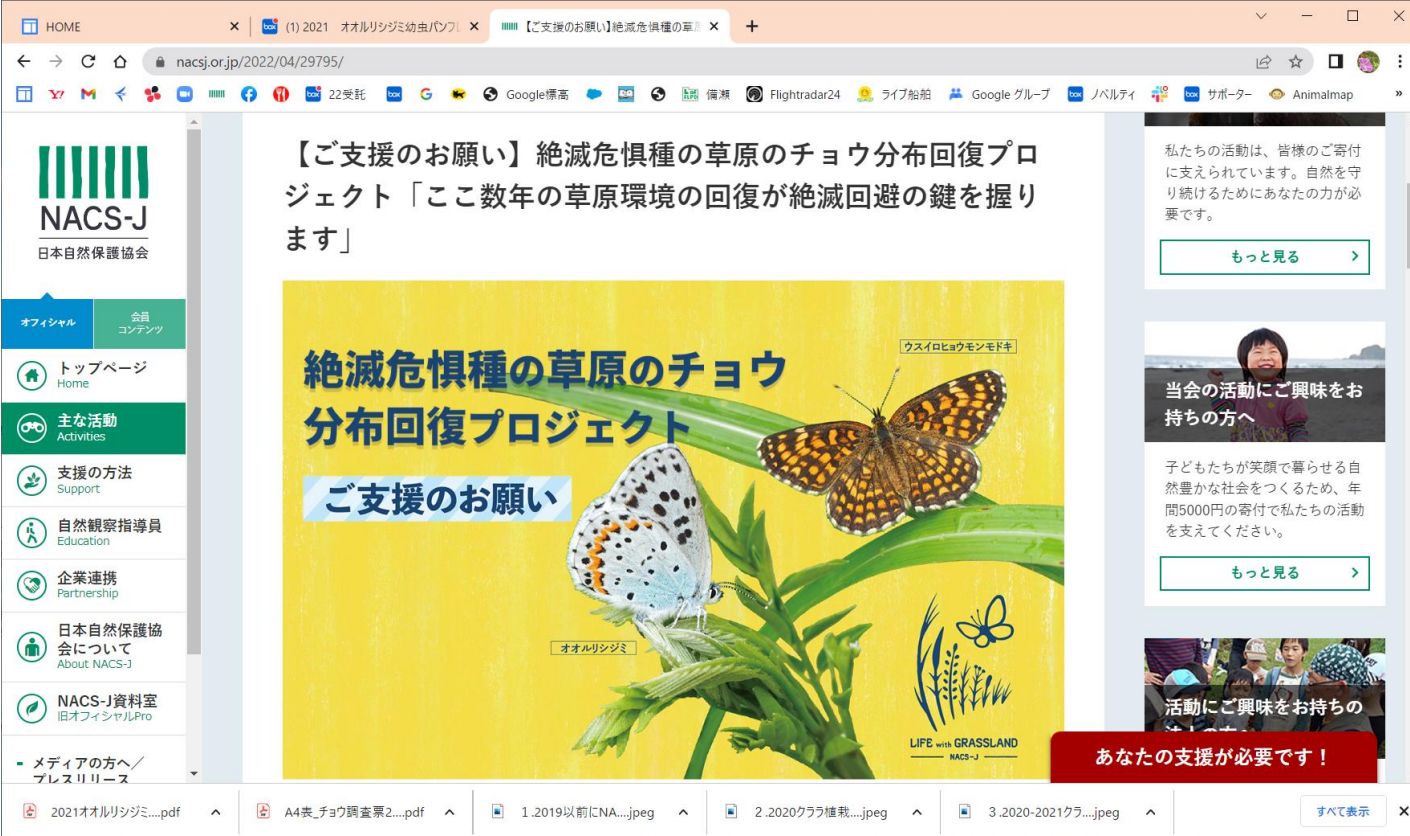
オオルリジミの一生



資料 日本自然保護協会会報「自然保護」より

全国からの支援を基に

チョウを守る活動にご寄付をいただいています。



HOME (1) 2021 オオルリジミ幼虫バコフ... 【ご支援のお願い】絶滅危惧種の草... +

nacsj.or.jp/2022/04/29795/

NACS-J
日本自然保護協会

【ご支援のお願い】絶滅危惧種の草原のチョウ分布回復プロジェクト「ここ数年の草原環境の回復が絶滅回避の鍵を握ります」

絶滅危惧種の草原のチョウ分布回復プロジェクト

ウスイロヒョウモンシロドキ

オオルリジミ

LIFE with GRASSLAND
NACS-J

私たちの活動は、皆様のご寄付に支えられています。自然を守り続けるためにあなたの力が必要です。

もっと見る >

当会の活動にご興味をお持ちの方へ

子どもたちが笑顔で暮らせる自然豊かな社会をつくるため、年間5000円の寄付で私たちの活動を支えてください。

もっと見る >

活動にご興味をお持ちの

あなたの支援が必要です！

2021オオルリジミ...pdf A4表_チョウ調査票2...jpeg 1.2019以前にNA...jpeg 2.2020クララ権載...jpeg 3.2020-2021クラ...jpeg すべて表示 x

日本自然保護協会は、公益財団法人ですが、
自然保護活動は、各担当が資金集めを行いながら事業を実施

全国からの支援を基に

1、保全のための情報の共有（印刷物・看板）



オオルシジミが舞う
安曇野を目指して！
クララのしおり

「オオルシジミ（学名：Shijimaeoides divinus）」は、長野県と九州の一部でのみ生息が確認されている絶滅危惧種のチョウです。（環境省レッドリストで絶滅危惧1類）

このチョウの保全活動が1995年から安曇野市で進められています。いままで、国営アルプスあづみの公園内の保護区や、篤志家の手で細々と命をつないできたものが、2019年より保護区以外の場所でも生息が確認されるようになってきました。

これは、安曇野オオルシジミ保護対策会議などによる国営公園内の保護区周辺への食草の移植や、地元の方々が自宅の庭や田畑のあぜに食草を植える活動などを熱心に行ってきた結果です。

さらにチョウの分布域が拡大して、安定した発生が続くようになると、絶滅の危険性が遠のくと考えられています。今年はこの傾向を確かなものとするため、オオルシジミの幼虫の食草である「クララ」の苗の配布を行うことになりました。※1

※1 オオルシジミの幼虫は、クララの花や（つぼみ）だけを食べ大きくなります。そのためクララがある場所でのみ、生息することができます。



深い黄色のオオルシジミの卵（約0.5mm）



オオルシジミの幼虫



看板の設置




オオルリシジミ 生息地

5~6月は地区内でパトロールをしています


岩原自然と文化を守り育てる会 宇都野オオルリシジミ保護村委員会 徳州生物多様性ネットワーク 200000 日本自然保護協会

オオルリシジミ(学名: *Skjinniaoides divinus*)は、増鏡色の翅をもつ大型のシジミチョウです。幼虫はマメ科のクララのみを食草としています。かつては東北や関東地方の火山草原や明るく開けた草原、河川の土手や田畑の畦に生息していましたが、

現在、オオルリシジミは長野県の一部の地域と九州の阿蘇地方にしか生息していません。

環境省のレッドリストで最も絶滅に瀕していることを示す「絶滅危惧Ⅰ類」に指定され、長野県・熊本県では「指定希少野生動植物」に指定されています。オオルリシジミを無断で捕獲、採集することは条例で禁止されています。

○の箇所は、オオルリシジミの生息地の内野付谷で採れたものです。 日本自然保護協会




オオルリシジミ 生息地

オオルリシジミ(学名: *Skjinniaoides divinus*)は、増鏡色の翅をもつ大型のシジミチョウです。幼虫はマメ科のクララのみを食草としています。国内では毎年5月中旬~6月頃に成虫を観察することができます。

かつては東北や関東地方の火山草原や明るく開けた草原、河川の土手や田畑の畦にも生息していました。

しかし、現在オオルリシジミは、長野県の一部の地域と九州の阿蘇地方にしか生息していません。

環境省のレッドリストで最も絶滅に瀕していることを示す「絶滅危惧Ⅰ類」に指定され、長野県・熊本県では「指定希少野生動植物」に指定されています。捕獲しないようお願いいたします。

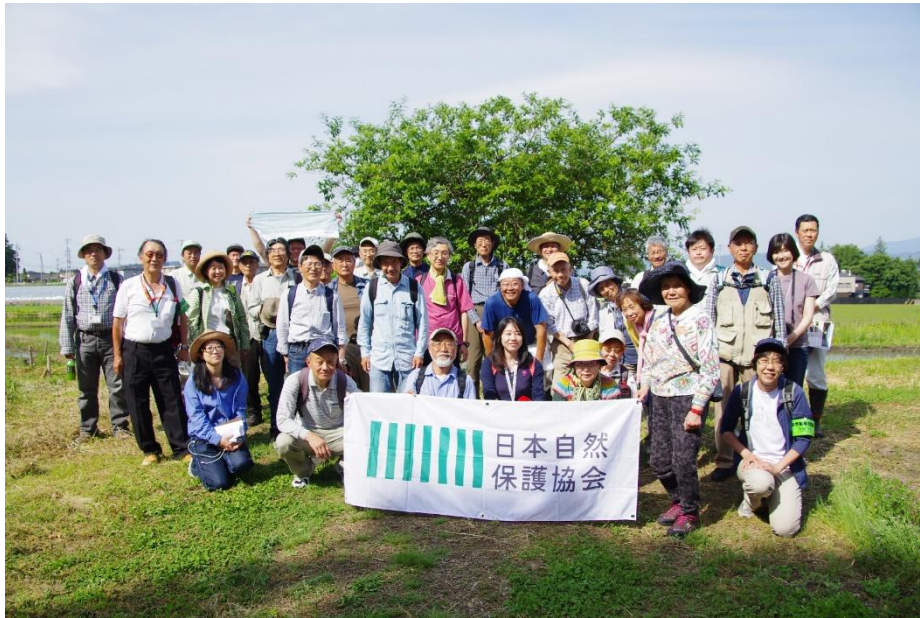


アルプスあづみの公園管理センター

宇都野オオルリシジミ保護村委員会 岩原自然と文化を守り育てる会
徳州生物多様性ネットワーク 200000 日本自然保護協会

全国からの支援を基に

自然観察会やイベントの実施



全国からの支援を基に

2、調査活動の実施、地元や研究者の支援

2022 地域の宝物！
安曇野市の天然記念物
オオルリシジミ調査
ご協力をお願い

オオルリシジミの成虫や幼虫を見かけたら、ぜひお知らせください。ご提供いただいたチョウの情報は、保護活動の大切な資料になります。

飛行時期は
5月中旬～6月のみです！

チョウの内部には番号がないので、開いたときに番号をご確認ください。

番号が記載されているチョウもいます。見つけたときは、番号をお伝えください。公園内でのサンクチュアリで採ったオオルリシジミのはねに番号をつけて、期間限定で生体口数を調べています。

幼虫も調べています。オオルリシジミの幼虫は、6月頃にクワウという植物の花やつばみ部分で、アリの巣まがらみで過ごしています。幼虫が見られるということは、この場所でも産卵しているという証拠になり、大変貴重な情報になります。

可能ならスマートフォンやカメラで写真に写してください。

オオルリシジミに似た小さなチョウが多いため、写真をご提供いただけるとより確実な情報になります。写真は中村真志先生（富山大学名誉教授）、田中賢子先生（関西学院大学）に確認していただき、当日より毎日結果をお知らせします。

※ご提供いただいた生体情報は「オオルリシジミの保護」に活用します。また、互換性のため、保全のための研究報告と、地域の皆さまと情報をご共有くださった方への報告以外には、開示はいたしません。

■調査票は裏面にあります！





日本自然保護協会

**オオルリシジミの
みわけかた**

5月第一～五月中旬にかけて、オオルリシジミの幼虫や成虫を見かけたら、番号をお知らせください。番号をお知らせいただくと、調査票に記入していただきます。

調査票に記入する際は、必ず「オオルリシジミ」の欄に記入してください。

オオルリシジミの成虫は、卵や幼虫を採集した際に、必ず「オオルリシジミ」の欄に記入してください。

オオルリシジミの幼虫は、6月頃にクワウという植物の花やつばみ部分で、アリの巣まがらみで過ごしています。幼虫が見られるということは、この場所でも産卵しているという証拠になり、大変貴重な情報になります。

オオルリシジミの調査票は、調査票の裏面にあります。調査票の裏面に記入してください。

調査票の裏面に記入する際は、必ず「オオルリシジミ」の欄に記入してください。

調査票の裏面に記入する際は、必ず「オオルリシジミ」の欄に記入してください。





日本自然保護協会



全国からの支援を基に

3、防犯グッズの提供



写真左：軽トラックの防犯見回り用ステッカー

写真右：生息地パトロールにご協力くださった地域の皆さま

イエローカード



オオルリシジミ
生息地



オオルリシジミ 生息地 パトロール

岩原自然と文化を守り育てる会

安曇野オオルリシジミ保護対策会議 信州生物多様性ネットさずな 公益財団法人日本自然保護協会

いつまでもオオルリシジミがこの安曇野で見られるように、
ご協力をお願いいたします。

安曇野では
20年間以上、地元有志により
保護の努力が続いています

オオルリシジミの本州亜種は、環境省のレッドリストで**絶滅危惧IA類**
-ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの-
とされています。長野県では、条例で**指定希少野生動植物**に指定
(平成18年3月30日告示)されています。

皆さまのご参加を お待ちしております



**あなたが植えたクララにオオルリシジミが
来ているか調べます！**

**2023年オオルリシジミ調査への
参加のお願い**

来年の春、あなたのクララに、オオルリシジミが
来ているか、知りたくありませんか？
日本自然保護協会では、研究者や自然観察指導員
の協力を得て、2023年の春、あなたが植えたクラ
ラに、オオルリシジミが来ているか調べます。調
べたデータは、安曇野のオオルリシジミの分布拡
大の貴重な情報になります。
調査に協力して下さる方は、下記にご記入くだ
さい。

調査期間：2023年6月中旬
調査方法：クララにオオルリシジミが卵を産んでいるか幼虫がいるか専門家による調査。

協力して下さる方
ご希望の方には2023年
に「クララの苗を1本」
追加で差し上げます。
来年の調査の際にご希望
をお伺いいたします。



公益財団法人日本自然保護協会 生物多様性保全課
〒104-2013 東京都中央区新川1-16-18 ミトヨビル2階
TEL: 03-3553-4191 / FAX: 03-3553-0139 mail: ba@nacsj.or.jp
担当の無断で複製・070-2248-3344 (原簿)

主催：公益財団法人日本自然保護協会 安曇野オオルリシジミ保護対策会議
協賛：自然と文化を守り育てる会 徳州生物多様性ネットワーク



2023年オオルリシジミ調査に参加します。

お名前 _____

ご住所 安曇野市 _____

電話番号 _____ Mail _____

